

有限会社ケイ・ピー・ディ 代表取締役 加藤木 一明

## 会社概要

会社名 有限会社ケイ・ピー・ディ

代表者 代表取締役 加藤木 一明

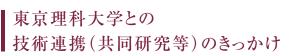
設立 2004年(創業は1999年)

資本金 300万円

事業内容 プリント基板の設計・製造・部品実装・

組立・コンサルティング・電子機器開発

http://www.kpd-jp.biz/



当社は家電やAV機器等に搭載されるプリント基板の設計を 中心に、これと関連する周辺業務を主な事業として展開してい ます。設立当初から取引先メーカーの相談やニーズにきめ細か く対応することを心がけてきており、プリント基板の設計や製 作に関するノウハウはかなり蓄積されていると自負しています。 東京理科大学と技術連携に至る最初のきっかけは、大手企 業との共同研究で必要となる試作機の開発をURAセンターの コーディネータを通じて依頼されたことです。この試作機開発 において、これまでに蓄積した当社のノウハウを活かして取り 組んだことが、研究室や大手企業から高い評価を受け、今日

まで共同研究に参画させ ていただいているものと 考えています。また、この 取り組みが後の「インキュ ベーションルーム」への入 居に繋がりました。



プリント基板アート作品の浮世絵

## ■技術連携(共同研究等)の内容

技術連携先は工学部情報工学科の古川利博先生の研究室 および公立諏訪東京理科大学工学部情報応用工学科の田 **邉造先生の研究室になります。詳しい内容をお話することは** 出来ないのですが、前述の通り当該研究室と大手企業の共同 研究に必要となる「試作機開発」という形で当社は参画してい ます。また、同じ研究室とは自社製品開発のテーマでも共同研 究を行っており、この研究開発を進めるに当たっては葛飾区の



「新製品・新技術開発補助事業」によ る資金的な支援を受けることが出来ま した。当該製品は近いうちに販売を開 始する予定です。この他にも、葛飾区と URAセンター主催による少人数制の 勉強会「テクノロジーカフェ」に積極的

に参加したことが、研究者との繋がりを生み、別のテーマでの 共同研究も幾つか開始する予定です。現在の当社は「インキュ ベーションルーム」への入居前では考えられないステージへと 成長出来ていると実感しています。

## ■事業や業績への影響(技術連携のメリット)

当社は葛飾キャンパスに設置された企業向け研究施設のう ち、「インキュベーションルーム(3)」という名称の部屋に入居 していますが、入居のメリットは既に経営上の数値として顕著 に表れており、入居前と比べて見積り依頼数が徐々に増加し、 売上高が約2倍になりました。東京理科大学のキャンパス内に 拠点を構えて共同研究に取り組んでいるという事実が、相見 積もりでの価格競争を減らすとともに成約率の向上につなが り、結果的に業績を向上させました。また、研究者間の横のつ ながりから新たな技術連携や製作の依頼を呼び込むこともあ

り、技術力の強化・拡 充と研究器材製作の 受注増といった、更 なる良いサイクルが 牛まれていることも入 居の大きなメリットと なっています。



インキュベーションルーム(3)